

4 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり

第4に「人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり」の施策について申し上げます。

国・県道の幹線交通網の整備については、国道284号真滝バイパスと清田地区、国道342号花泉バイパスと厳美バイパス、国道343号大原バイパス、主要地方道一関大東線生田・流矢地区および主要地方道一関北上線の整備促進に努めてまいります。

また、国道4号一関大橋以南の四車線化、国道284号室根バイパスの早期着工ほか、国道342号の国道4号から金沢地区に至る区間の路線変更について要望してまいります。

交通ネットワーク網の整備

さらに、一関・気仙沼間を結ぶ地域高規格道路の建設や近隣生活圏との交通ネットワーク整備のため（仮称）栗原北上線の県道昇格についても、関係市町と一体となって要望してまいります。

市道の整備については、国・県道整備との整合を図り、流通団地金沢線・清水原一関線、大原浜民線および石堂構井田線を整備するなど、地域と地域を結ぶネットワーク網の拡充を図るとともに、一関東第二工業団地の分譲に合わせ寺田下流通団地線の整備についても進めてまいります。

さらには、新たな工業団地の整

備構想に関連する（仮称）滝平一ノ沢線、千厩アイスアリーナから広域農道にアクセスする（仮称）駒場広域連絡線の調査を実施するとともに、地域の生活道路についても整備を進めてまいります。

街路の整備については、一ノ関駅東口へのアクセス向上を図るため、駅東前堀線の整備を進めてまいります。

また、中央町地区の街路整備を進め、安全で快適なまちづくりや市街地における交通渋滞の解消に努めてまいります。

情報通信基盤の整備を推進

一ノ関駅周辺整備については、磐井川堤防改修計画と整合を図り

ながら、市民との協働により基本計画を策定してまいります。

公共交通については、川崎弥栄地区は新たに市営バス方式、長坂マンド方式により運行を行いながら、各地域の実情に合った乗り合い交通の形態を検討してまいります。

テレビの難視聴対策については、放送事業者の中継局の整備を要望するとともに、光ファイバーの有効活用を検討するなど、デジタル放送化に向け対応してまいります。

また、情報格差の是正については、光ファイバーの民間開放を積極的に推進し、携帯電話のエリア拡大などに努めてまいります。

5 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり

第5に「水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり」の施策について申し上げます。

市民の環境保全意識の啓発

環境保全については、河川の水質の把握に努めるほか、自然観察会、スターウオッチングなどの環境教育活動を展開するとともに、

市民の環境保全意識の啓発に努め、市民、事業者、行政の協働による循環型社会の構築に向けた取り組みを推進してまいります。

地球温暖化対策については、一関地球温暖化対策地域協議会と連携し、環境学習会の開催、広報の発行など、排出CO₂削減の必要性などの意識啓発に努め、取り組みを

推進してまいります。

また、省エネルギーの推進と、環境負荷の少ない新エネルギーの導入を進めるためのビジョンを、今後2カ年度で策定してまいります。ごみの減量化、資源化については、ごみ問題対策巡視員との連携による分別収集の推進、生ごみの減量機器等購入への助成、自治会、

PTAなどによる有価物回収活動を支援し、資源の有効活用を意識啓発を図ってまいります。

また、不法投棄対策については、新たに監視カメラを導入するなど、抑止に努めてまいります。景観については、景観計画に基づき、市民意識の啓発に取り組みとともに、良好な景観の形成に努



清流化を願って行われた千厩川へのサケ稚魚の放流

めてまいります。

個人住宅の耐震化促進については、木造住宅耐震診断事業と耐震改修助成事業を実施し、市民の住環境の安全確保に資してまいります。

上下水道施設の整備を推進

簡易水道事業については、厳美・萩荘、真滝・弥栄、舞川、磐清水、奥玉・小梨および田河津の事業を推進し、水道未普及地域の解消に努

めてまいります。

また、大原、摺沢、興田・猿沢、田河津および川崎の各簡易水道事業においては、膜ろ過設備による浄水場の整備や配水池等の築造、老朽配水管の更新を行ってまいります。

水道事業については、千厩地域への新たな供給のため浄水場を建設するとともに、老朽配水管の更新など、施設整備を計画的に行い、

安全な水の安定供給に努めてまいります。

また、上下水道料金収納システムを統一し、本庁、支所のいずれにおいても料金納付や各種手続きが行えるよう、利便性の向上を図ってまいります。

汚水処理対策については、磐井川流域関連一関公共下水道事業、千厩、東山地域単独公共下水道事業、花泉、大東、川崎地域特定環境

保全公共下水道事業による管路整備を推進するとともに、千厩汚水処理施設の整備を進めてまいります。

また、供用開始区域内の未接続世帯の水洗化を促進するとともに、農業集落排水施設の適切な維持管理や浄化槽の設置助成などを行い、公共用水域の水質改善を図り快適な生活環境の推進に努めてまいります。

主役は市民―協働により活力あるまちづくりを推進

以上、分野別施策の主なものを申し上げますが、「市政は市民のために」をモットーとして、市民の視点に立ち、活力あるまちづくりを推進してまいります。

市民との協働については、協働の指針となるアクションプランの策定に取り組み、それぞれの役割と責任を担いながら、協働のまちづくりを進めてまいります。

また、市民が主役のまちづくりを推進するうえで、市民と行政が情報を共有することは、基本であり最も重要なことでもあります。新たに広報モニター制度を設け、より親しまれる広報紙、ホームページづくりにも努め、適時的確な情報を提供してまいります。

広域行政については、一関地区

広域行政組合や両磐地区広域市町村圏協議会などを通じて、生活圏、文化圏、経済圏などを共にしている平泉町、藤沢町と連携しながら、両磐地域の振興に取り組んでまいります。

また、岩手県後期高齢者医療広域連合との連携を密にししながら、後期高齢者医療制度の円滑な実施に努めてまいります。

行財政運営については、財政を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、行政改革大綱・集中改革プランを着実に実行し、歳入・歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、限られた財源の中で、当面する課題や将来にわたる多様な市民ニーズに的確に対応できる財政基盤の確立に努めてまいります。

また、合併前の旧7市町村で異なっていた、公共施設の使用料の統一により、受益者負担の適正化を図ってまいります。

現下の、わが国の経済・雇用情勢は、未曾有の世界同時不況により深刻な影響を受けており、これに対応した迅速な行動が求められているところでもあります。

当市におきましては、国の緊急経済対策にあわせ、事業の大規模な前倒しを行い、平成20年度、21年度予算を通じた経済対策を実施してまいります。

その取り組みといたしましては、幹線市道の改良や舗装、側溝などの道路整備、小中学校保育園などの公共施設整備、中小企業振興資金の融資枠および奨学金貸し付け

対象者数の拡大、テレビデジタル化放送に伴う小中学校のテレビ受信装置の整備などを実施し、市民生活に密着した社会基盤の整備、公共施設の耐久性の向上、中小企業資金の円滑化等を重点的に実施し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ってまいります。

今、まさに試練の時であり、しかし、逆境を次なる飛躍の好機ととらえ、すべての英知を結集し、岩手県南・宮城県北の中核都市として、さらなる未来発展に向け全力を傾注し、市民の負託に応えてまいります。

市議会議員各位ならびに市民皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。



協働について理解を深めようと市民と市職員が参加して行われたワークショップ



地域と地域を結ぶ市道の整備を進めます(写真は流通団地金沢線)